

土合中学校 国語科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2. 学習内容

(1) 日常生活の中から題材を求め、スピーチや話し合い活動、さらに書くことを通して、自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて適切に国語を用いる力を養う。また、さまざまな種類の文章を読み、内容を的確に理解する力を身に付けるようにする。

(2) 社会生活に関わることから話題を求め、話したり聞いたりする活動の中で、自分の立場を明確にして意見を書いたり話したりする力を養う。また、話の論理的な構成や展開を読み取り、内容を理解する力を身に付けようとする。

(3) 聞き取りメモを充実させ、授業内容や友達の発言を正確に受け止める力を養う。また、目的を持ってさまざまな文章を読み、必要な情報を集めて、自分の表現に役立てる力を身に付けるようにする。

3. 評価の観点・評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
評価方法	定期テスト ワークシート 漢字小テスト 作品 硬筆、書きぞめ	定期テスト ワークシート 推敲した文章 発表資料	レポートや感想文における記述 原稿用紙（作文） 生徒による自己評価や相互評価 発表資料

土合中学校 社会科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 学習内容

【第1学年】 地理的分野 「世界と日本の地域構成」 「地域の規模に応じた調査」 歴史的分野 「古代までの日本」 「中世の日本」	【第2学年】 地理的分野 「日本の地域的特色と地域区分」 「日本の諸地域」 歴史的分野 「近世の日本」 「近代の日本と世界」	【第3学年】 歴史的分野 「近代・近現代の日本と世界」 公民的分野 「現代社会と私たちの暮らし」 「個人の尊重と日本国憲法」 「現代の民主政治と社会」 「私たちの暮らしと経済」 「地球社会と私たち」
--	---	--

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	社会的事象について理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	グラフ・地図、年表・歴史資料の読み取りや作成、レポート、提出物の内容小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察し、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。	作業や作図など、ワークシートへの記述、小テスト、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察を通して国民権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付ける。	レポート、ワークシートなど提出物の内容、学習計画、ポートフォリオ

土合中学校 数学科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
1. 正の数・負の数 2. 文字の式 3. 方程式 4. 変化と対応 5. 平面図形 6. 空間図形 7. データの活用	1. 式の計算 2. 連立方程式 3. 一次関数 4. 図形の調べ方 5. 図形の性質と証明 6. 場合の数と確率 7. 箱ひげ図とデータの活用	1. 式の展開と因数分解 2. 平方根 3. 二次方程式 4. 関数 $y = ax^2$ 5. 図形と相似 6. 円の性質 7. 三平方の定理 8. 標本調査とデータの活用

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・ワークシートへの取組 ・テストへの取組
思考・判断・表現	数学を利用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・ワークシートへの取組 ・テストへの取組
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・授業への取組 ・ワークシートへの取組

土合中学校 理科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- （1）自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- （2）観察、実験を行い、科学的に探究する力を養う。
- （3）自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する態度を養う。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
1. いろいろな生物とその共通点 2. 身のまわりの物質 3. 身近な物理現象 4. 大地の成り立ちと変化	1. 化学変化と原子・分子 2. 生物の体のつくりとはたらき 2. 地球の大気と天気の変化 4. 電流とその利用	1. 生命の連続性 2. 化学変化とイオン 3. 宇宙を観る 4. 運動とエネルギー 5. 自然と人間

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	自然の事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ペーパーテストへの取組 ・観察・実験でのレポート ・ワークシートへの取組 ・実技テストへの取組
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・ペーパーテストへの取組 ・観察・実験でのレポート ・ワークシートへの取組
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・ワークシートの記述内容 ・授業用ノートの記述内容 ・授業への取組 ・まとめプリント

土合中学校 音楽科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

- 『みんなで感動しよう！ その感動を伝えよう！ 広げよう！ 高め合おう！』
- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
 - 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 - 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
○歌唱 土合中学校校歌 「学年合唱曲」 「夢の翼」 「赤とんぼ」 「夏の思い出」 クラス混声合唱曲 国歌「君が代」 ○器楽 箏 ギター リコーダー ○創作 言葉の抑揚を生かした創作 ○鑑賞 「魔王」 「四季」より「春」 日本の民謡 など	○歌唱 土合中学校校歌 「あすという日が」 「荒城の月」 クラス混声合唱曲 卒業式式歌 国歌「君が代」 ○器楽 ポピュラー音楽アンサンブル ○創作 音階を生かした創作 ○鑑賞 交響曲 オペラ 日本の民謡 など	○歌唱 土合中学校校歌 「大地讃頌」 「花」 クラス混声合唱曲 卒業式式歌 国歌「君が代」 ○器楽 和楽器アンサンブル ○創作 コード進行を生かした創作 ○鑑賞 世界の民謡 など

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	授業での活動 発表・テスト
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	授業での活動 発表・テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	活動に臨む態度 楽譜への書込等

土合中学校 美術科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）対象や自称を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- （２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- （３）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 学習内容

【第１学年】	【第２学年】	【第３学年】
1. 対象の造形的な視点の理解 2. 自然の美しさへの思考 3. 主題を生み出し構想を練る 4. 美術を愛好する心情を培う	1. 自分の表現方法の追求 2. 造形的な美しさの調和 3. 主題を豊かに発想する 4. 創造活動の喜びを味わう	1. 創造的な表現方法の追求 2. 表現の意図を工夫する 3. 主題を感じ取り深める 4. 美術と生活との関連を養う

3. 評価の観点・評価方法

評価の観点	内 容	評価の方法
知識・技能	・自ら進んで創造的な発想や構想をし、自分らしくよりよい表現を創造している。 ・美術作品や文化遺産の良さや美しさを感じ取り、味わい、評価し合う。 ・作品や道具を大切に扱う。	・振り返りシート ・作品（提出物） ・ワークシート ・自己評価カード ・制作カード ・アイデアスケッチ
思考・判断・表現	・独創的、総合的なものの見方や考え方をし、豊かな発想や構想している。 ・作品の発想をアイデアスケッチにしっかりまとめている。 ・与えられた時間の中で、計画的に作品制作をしている。	・作品（実技試験含む） ・ワークシート ・自己評価カード ・制作カード
主体的に学習に取り組む態度	・様々な表現方法や技法を工夫して創造的に表現しようとしている。 ・根気強く丁寧な作品制作を通して、より完成度の高い作品を目指そうとしている。 ・授業中のルールを守り、意欲的に取り組む。 ・時間に遅れない。 ・忘れ物をしない。 ・期限を守り、提出物をきちんと提出する。	・作品（実技試験含む） ・ワークシート ・自己評価カード ・制作カード

土合中学校 保健体育科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

- 各種の運動の実践を通して、課題を解決するなどにより運動の楽しさや運動技能を高め、生活を明るく健全に生活することのできる態度を育てる。
- 各種運動を適切に行うことによって、自己の体の変化に気付き体の調子を整えるとともに、体力の向上を図り、たくましい心身を育てる。
- 運動における競争や協働の経験を通し、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。また、健康・安全に留意して運動することができる態度を育てる。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
○運動の行い方を理解し、運動の特性に応じた基礎的な技能を身に付け、体力の向上をはかることができる力。 ○自ら進んで運動に取り組み、公正、協力の態度を身に付ける力。	○運動の課題や行い方を理解し、体力の向上や運動の特性に応じた技能を身に付けることができる力。 ○自ら進んで運動に取り組み、公正、協力の態度を身に付ける力。 ○運動の特性に応じた、運動の仕方を考え工夫することができる力。	○運動の課題や行い方を理解し、体力の向上や運動の特性に応じた技能を身に付けることができる力。 ○自ら進んで運動に取り組み、公正、協力、責任などの態度を身に付ける力。 ○運動の特性に応じた自己やグループの課題解決を目指し、運動の仕方を考え工夫することができる力。

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	・運動の特性に応じた体力や技能を身に付けている。 ・自己の体力に応じて、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。 ・運動の特性、運動の行い方を理論的に理解している。 ・種目のルールや審判法を理解し、実践している。 ・安全を意識して行動している。	授業への取組 ゲームや記録測定の観察・記録 学習カード テスト（技能・知識）
思考・判断・表現	・運動の特性に応じて自己の能力を的確に把握している。 ・自己の能力に応じて課題を設定している。 ・課題達成のための工夫や努力をしている。 ・場の安全や健康管理に留意して活動している。	授業への取組 学習カードの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・授業に意欲的に取り組んでいる。 ・グループ活動を円滑にするために積極的に活動している。 ・授業の約束事をしっかり守っている。 ・授業の準備・片付けに積極的である。 ・種目の特性やルールを理解し、公平な態度がとれる。	授業への取組 グループやペア活動での取組

土合中学校 技術・家庭科（技術分野）年間学習内容（シラバス）

1. 教科の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通し、A 材料と加工の技術、B 生物育成の技術、C エネルギー変換の技術、D 情報の技術の 4 つの分野の基礎的・基本的な知識及び技術を習得し、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
1. ガイダンス(技術の役割、技術の見方・考え方等) 2. さまざまな材料の特徴と利用法 3. 材料を利用するための技術(製図を含む)と問題解決の手順 4. 木材製品の製作 1) 材料取り 2) 部品加工 3) 組立て・接合 4) 仕上げ 5. 情報とコンピュータ 1) コンピュータの構成と機能 2) 情報の表現と伝達	1. 作物を栽培して生活に生かそう 1) 生物の育成に適する条件と育成環境、管理する方法 2) 作物の栽培技術 3) 作物の栽培実習 4) 生物育成の技術に関する適切な評価・活用 2. わたしたちの生活とエネルギー変換 1) エネルギー変換の実際 2) 電気エネルギーの利用 3) エネルギー変換を利用した工作物の製作 4) エネルギー技術の技術に関する適切な評価・活用 3. 情報通信ネットワークの利用と情報セキュリティ・情報モラル 1) 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用のしくみ 2) 情報セキュリティ・モラル 3) 双方向性のあるコンテンツによる情報伝達	1. 情報処理の表現方法と計測・制御 1) 情報処理の表現方法 2) 計測・制御のしくみ 3) プログラミング実習 2. 3年間の学びをふり返ってこれからの社会を考えよう

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	ワークシート・学習プリント 定期テスト 製作物（実習課題）等
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	ワークシート・学習プリント 定期テスト 製作物（実習課題）等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、技術を工夫し創造したりしようとしている。	学習カード・提出物 授業への取り組み姿勢等

土合中学校 技術・家庭科（家庭分野） 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

【家庭分野の目標】

生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通りに育成する。

- （１）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- （２）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- （３）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 学習内容

【第１学年】 「家族・家庭生活」 「衣生活」「住生活」	【第２学年】 「食生活」 「消費生活と環境」	【第３学年】 「家族・家庭生活」 「消費生活と環境」
-----------------------------------	------------------------------	----------------------------------

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評 価 方 法
知識・技能	家庭・家族の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	ワークシートの内容 作品 定期テスト
思考力・判断力・表現力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	ワークシートの内容 作品 学習カード 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業への姿勢・取り組み方 作品 学習カード

土合中学校 グローバル・スタディ科 年間学習案内（シラバス）

1. 教科の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 学習内容

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
PROGRAM1 be動詞	PROGRAM1 未来形、動名詞	PROGRAM1 構文、現在完了（経験）
PROGRAM2 一般動詞	PROGRAM2 接続詞	PROGRAM2 現在完了（完了・継続）
PROGRAM3 can	PROGRAM3 to不定詞	現在完了進行形
PROGRAM4 This/That is ～.	PROGRAM4 形容詞+不定詞	PROGRAM3 tell+A+B、
PROGRAM5 三人称単数現在	助動詞	make+人+形容詞
PROGRAM6 代名詞	PROGRAM5 疑問詞+to不定詞	PROGRAM4 分詞の後置修飾
PROGRAM7 There is/are ～.	look+形容詞	間接疑問文
PROGRAM8 現在進行形	SVOO	PROGRAM5 関係代名詞(主格)
PROGRAM9 一般動詞の過去形	PROGRAM6 比較①	PROGRAM6 関係代名詞(目的格)
PROGRAM10 be動詞の過去形	PROGRAM7 比較②	PROGRAM7 仮定法過去
過去進行形	tell+人+間接疑問詞	
	PROGRAM8 受け身	

3. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
知識・技能	- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 - 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	定期テスト、パフォーマンステスト、スペリングコンテスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	定期テスト、パフォーマンステスト、課題英作文、グループでの話し合い
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンステスト、生徒の自己評価の記述

さいたま市立土合中学校 特別支援学級 年間学習案内（シラバス）

1. 特別支援学級教育目標

将来の**社会的自立**に向けて

～社会の中で、たくさんの人と豊かに関わりながら、

主体的に生き生きと生活できる生徒の育成～

○自分で できる生徒

自分のことは一人でできる 最後までがんばる できないときはお願いする

自分を表現する 自分の考えが言える 嫌なことは嫌と言える

自分の好きなことを見つける

○みんなと 仲良くできる生徒

思いやりの気持ちが持てる 自分の役割を果たす

○元気に がんばる生徒

積極的に体を動かす 体力をつける 集中力が持続できる

2. 身につけたい力

○将来自立し、主体的に生活していくために必要な基本的な学力と体力。

○職業教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能及び態度。

○生活の課題に沿った多様な生活経験を通して、日々の生活の質を高める。

○交流及び共同学習を通して対人関係を学び、社会性を育てる。

3. 特別支援学級の学習内容

教科等		主な学習内容	教科等		主な学習内容
教科別の指導	国語	・国語辞典を使おう ・いろいろな物語文を読もう	各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・身辺自立の確立 ・社会性の向上
	数学	・四則計算 ・お金の計算、時計の読み方		生活単元学習	・校外学習に向けて ・体育祭、合唱コンクールに向けて
	社会・理科	・日本を知ろう、世界を知ろう ・実験や観察をしよう		作業学習	・切り絵 ・木工、紙工
	音楽	・合唱や合奏をしよう ・箏曲を楽しもう	特別の教科 道徳		自分自身に関すること 他の人とかかわりに関すること 集団や社会とかかわりに関すること
	美術	・水彩写生、スケッチ ・立体作品作成	総合的な学習の時間		・自分の進路について ・学校の周りを調べよう
	保健体育	・集団行動 ・球技、水泳、持久走	特別活動		・学級活動 ・交流及び共同学習
	職業・家庭	・縫製 ・調理 ・基本的なパソコン操作	自立活動		健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション
	グローバル・スタディ	・英単語の習得 ・英語でコミュニケーションをとろう			